



第36回東京都農業祭について



昨年まで、「アグリ・フェスタ・トウキョウ」として開催してまいりました、このイベントについて、本年より『東京都農業祭』として開催していく運びとなりました。（写真は昨年の様相）

地域の皆様との交流や、植木の振興を目的に、例年多くの皆さまのご参加を頂いております。

日程は下記の通りとなりますので、本年も昨年来同様に、ご参加・ご協力宜しくお願いいたします。

記

第36回東京都農業祭

日 程 平成19年4月21日、22日

場 所 東京都小金井市貫井南町1-9
JA東京植木市場会場

視察研修会について

毎年恒例となっています、視察研修会ですが、本年については東京都内の緑化施設の視察を予定しています。

日程は、平成19年6月7日（木曜日）

視察場所については、東京湾の「海の森」や、招致候補に決まった東京オリンピック開催予定地などを考えております。

ご参加ご希望の方は、支部長を通じてお申し込み下さい。

新年懇親会の開催について

2月9日に、JA東京植木、三多摩造園業協同組合合同の新年懇親会が開催されました。

当日は、お忙しい中にもかかわらず、104名ものご参加を頂き、盛大に会を催すことができました。

この紙面を借りまして、心より御礼申し上げます。

なお、写真は当日の会場の模様です。



樹々光彩

バイオマス利用が最近にわかに注目されている。

家畜の排泄物や生ごみ、木屑に籾殻など、今まではせいぜい畑の堆肥代わりに使われていたにすぎないものを、エネルギーとして再利用するプラント（バイオマス・タウン）が各地で作られているのだ。

この背景には、地球温暖化への対応という人類にとっての切実な問題がある。

バイオマスの炭素は「カーボン・ニュートラル」といい、もともと大気中のCO₂を植物が光合成によって固定化したものなので、燃焼などによって新たにCO₂が発生しても、実質的に大気中のCO₂を増加させないという特性がある。

緑の供給者として、私たちは、資源浪費型の産業体系を戒め、自然の摂理に従いつつ、循環型の社会を早急に築いていく責任を負っているといえるだろう。